

保護者様

平成27年3月10日

千葉県立若松高等学校
校長 佐藤 幸

人権啓発学習映画上映についてのお知らせ

早春の候、保護者の皆様にはますます御清栄のこととお喜び申し上げます。

さて、本校では生徒の人権教育の一環として人権尊重を目的とする人権教育の実践を図り、例年映画上映や講演会を実施しております。本年度も下記のとおり映画を通じた学習を実施する運びとなりました。保護者の皆様には趣旨を御理解のうえ、御配慮をお願い申し上げます。

記

- 1 日時 平成27年3月20日（金）
生徒現地集合 9：40ホール開場 9：45
上映開始 10：05～（上映時間130分）
上映終了 12：15
解散 12：25（生徒現地解散）
- 2 場所 四街道市文化センター大ホール（JR四街道駅北口下車徒歩15分）
四街道市大日396番地 TEL: 043-423-1618
- 3 目的 映画による人権啓発学習
- 4 映画題名 「それでも生きる子どもたちへ」
2005年/イタリア・フランス/130分 監督：カティア・ルンド他
日本語吹替・吹替用字幕で上映
- 5 内容（ストーリー）
7つの国の子どもたちの現実を、7つの国の監督たちがドラマティックに描いたオムニバス。
ルワンダ内戦で殺戮に手を染める少年兵（タンザ）、盗人一家の泥を一人かぶる15歳の少年（ブルー・ジプシー）、母子ルートでHIV感染した少女（アメリカのイエスの子ら）、日銭を稼ぐために奔走するスラムの幼い姉妹（ビルーとジョアン）、岐路に立たされたフォトジャーナリストを希望へ導く少年時代の残像（ジョナサン）、家族への不信から窃盗を繰り返す10代の少年（チロ）、身勝手な大人の手に乗ねられる境遇の異なる2人の少女（桑桑と小猫）。
世界の子供をとりまく厳しい現実がある。飢えや貧困、意味のない戦争……。それでも必死に生きていこうとする子供たちの表情が、どの作品からも見てとれる。
- 6 費用 生徒一人当たり 1,000円（各学年積立費より支出）
- 7 保護者様の御鑑賞について
保護者の皆様の中で鑑賞の御希望がございましたら、お子様を通じ、各クラス担任までお申し込みいただき、当日9時50分までに四街道文化センター大ホール入場口まで直接おいください。担当職員が御案内します。また、保護者様の鑑賞費用は無料です。